

第1の目標（学習指導要領）

- 【学校の教育目標】すすんで学ぶ子 心ゆたかな子 たくましい子
 【生活科・総合的な学習の時間で目指す児童像】
 ○友達の考えのよさに気づき、協働してかたちにすること
 ○相手意識のある、人に役立つという志をもつこと
 ○まちに愛着をもち、まちでの「試行錯誤の体験活動」を粘り強く頑張ること

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

探究課題

| | |
|----|---|
| 3年 | 盆踊りプロジェクト みんなカムカム新蒲田 宮本通り商店街 |
| 4年 | つながれ・広がれ・みんなの心 防災・減災&段ボールラボ 健康プロジェクト |
| 5年 | SDGsを考えよう ものづくりのまち大田～世界に届け！大田の技術～ |
| 6年 | 未来の自分を考えよう 国際交流の会を成功させよう ものづくりのまち大田～道塚カンパニ～ |

【教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力】

| 情報活用能力 | | 言語能力 | |
|--|--|-------------------------|--|
| 情報・情報技術を活用する学習活動 | 協働して課題を解決しようとする学習活動 | 言語により分析しまとめ・表現したりする学習活動 | |
| ICTの主体的な操作を習得し、目的に合わせた情報を様々な方法から主体的に選択し活用する。 | 考えるための技法の活用する⇒（比較、分類、関連付け、順序付け、多面的・多角的に見る、理由付け、見通す、具体化、抽象化、構造化等） | | |
| | 表現する目的、手段について各教科での学習活動の中で学んだことから選択する | | |

【各教科等における見方・考え方】

| | | | |
|----|---|--------------|---|
| 国語 | 自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉え、その関係性を問い直して意味付けること。 | 家庭 | 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。 |
| 社会 | 社会的な事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに注目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。 | 体育 | 運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること。 |
| 算数 | 事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、論理的、統合的、発展的に考えること。 | 保健 | 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。 |
| 理科 | 自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。 | 外国語活動 外国語 | 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築すること。 |
| 生活 | 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連付け、試行、予測、工夫することなどを通して、自分自身や自分の生活について考えること。 | 道徳科 | 様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること。 |
| 音楽 | 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること。 | 特別活動 | 各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて、集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に関連付けること。 |
| 図工 | 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージを持ちながら意味や価値をつくりだすこと。 | 総合 | 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること。 |

| 【学習活動】 | 【指導方法】 | 【指導体制】 | 【学習の評価】 |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を活用する。 ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・ICTを効果的に活用する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全校指導体制を組織する。 ・学校運営協議会・学校支援協働本部及び学校図書館の活用・充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況を把握するために評価規準を設定する。 ・単元中に個別の評価基準を一覧にして見える化する。 ・個人内評価を重視する。 |

【各学年の総合的な学習の時間の目標】

| 学年 | | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|----------------------|--------|--|-------------------------------|--|--------------------------|
| 知識及び技能 | | 地域の自然の素晴らしさやそれを守る人々の工夫が分かる。 | 地域の環境の現状や環境を保全する人々の工夫や努力が分かる。 | 地域の産業のよさと課題及びそれに携わる人々の願いが分かる。 | 地域の未来像と自分たちの生活との関わりが分かる。 |
| | | 情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 | | 情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 | |
| 思考力, 判断力, 表現力等 | 課題の設定 | 自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追究している。 | | 地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。 | |
| | 情報の収集 | 目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。 | | 目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。 | |
| | 整理・分析 | 問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。 | | 視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。 | |
| | まとめ・表現 | 相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。 | | 相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。 | |
| | 振り返り | 学習したことをふり返り、生活に生かそうとしている。 | | 学習の仕方をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。 | |
| 学びに向かう力, 人間性等 | 主体性 | 課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。 | | 課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。 | |
| | 協働性 | 課題解決に向けて、身近な人と力を合わせて探究活動に取り組んでいる。 | | 課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気付いている。 | |
| | 自己理解 | 自分のよさや自分にできることに気付いている。 | | 探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとしている。 | |
| | 他者理解 | 自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解する。 | | 異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでいる。 | |
| | 社会参画 | 自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。 | | 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。 | |